

<パーソンセンタードケアとは>

年齢や健康状態にかかわらず、全ての人々に価値があることを認め、尊重し、ひとりひとりの個性に応じた取り組みを行うことで、認知症を持つ人の視点を尊重し、人間関係の重要性を強調したケアです。

ケアをしたことにより認知症の人の【良くない状態のサイン】が【良い状態のサイン】に転換されたり、【良い状態のサイン】が維持され、向上していくことがパーソンセンタードケアの目標になります。

認知症状の要因となる5つの要素

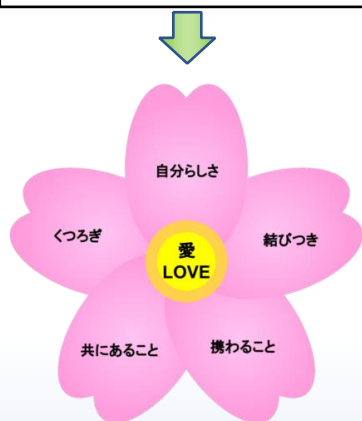
認知症高齢者の現在の状態

脳の障害 + 身体の状態 + 生活歴 + 性格傾向 + 社会心理

パーソンセンタードケアの重要性

認知症の人は私たちのケアで良い状態にも良くない状態にもなります。認知症の人の心理的ニーズが満たされると、良い状態でいられることができます。心理的ニーズを満たせるケアを考えましょう。

5つの心理的ニーズ	良い状態のサイン	良くない状態のサイン
<ul style="list-style-type: none"> ・自分らしさ ・くつろぎ（安らぎ） ・結びつき ・たずさわること ・共にあること 	<ul style="list-style-type: none"> ○喜び、楽しさを表す ○リラックスしている ○他の人に愛情を示す ○他の人と話をする ○人の役に立とうとする 	<ul style="list-style-type: none"> ▼絶望、強い怒り ▼緊張、身体的な苦痛 ▼他者からの差別、不快感 ▼混乱、動揺、無気力 ▼不安、おそれ、退屈



人間性の回復



BPSD・認知症の悪化
身体疾患の悪化
QOLの低下
在宅復帰困難
人に対する不信感

認知症を理解し「その人らしさ」を尊重したケアを